

## Sagasokka!活用事例

### 相模原市立若草小学校

【5年生／社会】

#### 『Sagasokka!』で得た基本的な知識をもとに自分で考える。探究的な学習の原点

相模原市立若草小学校は学校教育目標を「自分と社会のよりよい未来に向けて自ら主体的に行動する若草の子」と定め、重点目標は「自分で決める みんなで伸びる」としています。5年生社会の単元「日本の工業生産の今と未来」にて『Sagasokka!』を活用して、興味を持った工業について調べたことをもとに未来や自分たちの生活にどうつながるか自分で考えてまとめる活動をしました。その様子を授業者の牛島佑先生に伺いました。

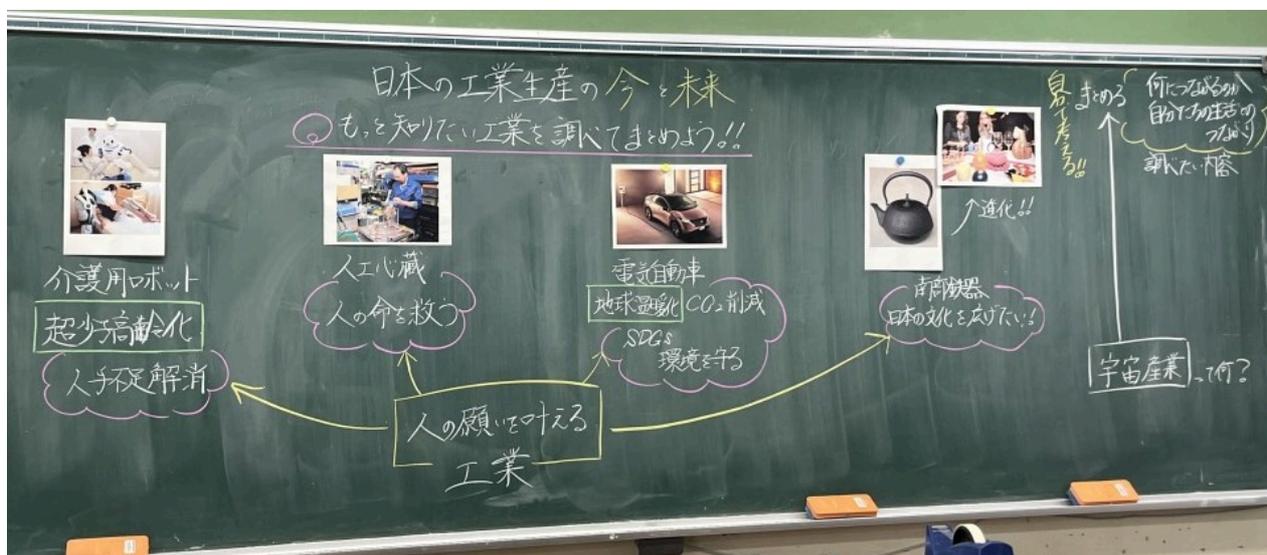


- ・所在地 神奈川県相模原市
- ・学年 5年生
- ・全児童数 約300名
- ・内容/用途 社会 日本の工業生産の今と未来

#### 興味を持った工業について調べたことをもとに自分で考えてまとめる

##### 授業のねらい・工夫

授業のねらいは、自分が興味を持った工業について調べ、得た知識をもとにその工業がどんなことに役立っていくか自分で考え、まとめていくことです。

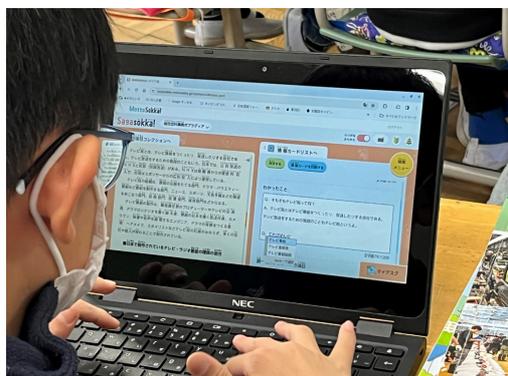


▲前時までの振り返りと、本時の活動について書かれた板書

工夫した点としては、授業の冒頭にめあてと本時の活動の流れを説明し、「人の願いを叶える」工業の例として写真を提示して日本の特色ある工業がどんな目的や願いにつながっているかを整理しました。また授業がスムーズに進行するように前時に『Sagasokka!』を触る時間を作り、子どもたちが後で読み返したい項目をクリップした「項目コレクション(※)」や「情報カード(※)」で情報を整理する時間を設けました。

※「項目コレクション」・・・後から読み返したい項目をクリップし、コレクションとしてまとめることができる機能

※「情報カード」・・・調べて分かったことや出典を記録できる機能



◀児童が「項目コレクション」「情報カード」を作っている様子。2画面構成は子どもたちにとって作業がしやすく、知りたいことを迷わずに調べ、まとめることができていた

### 授業でやってきたこと

日本の工業の技術力にフォーカスして前時までの学習を振り返った上で、調べたいテーマ別に4名程度のグループに分かれ、もっと調べたいと思う工業について『Sagasokka!』のキーワード検索や「授業で使える項目セット」で調べていきました。子どもたちは各自が作った「項目コレクション」を見ながら、「情報カード」に必要な部分を抜き出したりコピーしたりしながら情報を整理し、その情報をもとに自分の考えをまとめていきました。調べる活動の途中、画像からも情報が得られる例として『Sagasokka!』の画像資料を提示し、そこから読み取れる情報も挙げて説明をしました。目から得られる情報は、子どもたちの理解を助けてくれます。



◀項目本文だけではなく、画像資料も活用

※電子黒板で提示している画像は『Sagasokka!』に掲載されている「いろいろななかまほこ(練り製品)」(提供:とやま観光推進機構)

授業の後半、まとめまでできた児童が発表する時間をとりました(3名程度)。なかには「牛首紬」について調べて得た知識をもとに、「とても丈夫なので災害時にも生かせるのではないか」という自分の考えを発表する児童もいました。

うしくびつむぎ **牛首紬** 画像・資料を見る

石川県の**白山市**でつくられている**絹織物**。国の**伝統的工芸品**に指定されている。名前は生産地の**白山市白峰**がかつて**牛首村**とよばれていたことに由来する。**平安時代の末期**、**平治の乱**(**保元平治の乱**)にやぶれ牛首村に落ちのびた源氏の落人が、織物の技術を村人に伝えたのがはじまりといわれている。糸に空気をふくませる独特の技術を用い、**着心地がやわらかい**方で、**くぎにひっかけても反対にくぎがめけるほどじょうぶな**ので、**釘抜 紬**ともよばれる。

提供: 石川観光推進機構

©ポプラ社

マイデスク

うしくびつむぎ **牛首 紬の着物**



提供: 石川観光推進機構

石川県の伝統的工芸品

新しいタブで開きます

▲「牛首紬」の項目本文と、画像資料で閲覧できる画像「牛首紬の着物」

最後に、もっと詳しく知りたいという児童に向けて図書館の本との併用を目的に、各項目に掲載されているNDC（日本十進分類法）を案内して本時は終了しました。



◀『Sagasokka!』の各項目にはNDCを掲載している

### 『Sagasokka!』を使ってみて

『Sagasokka!』を使って良かったところは、まず、子どもたちが各自で好きなことがらや調べたいことを、正しい情報とともに、思い思いに追求できる点です。インターネットで検索するときさまざまな情報が入り混じり、誤った情報も入ってきます。『Sagasokka!』で調べれば正しい情報をダイレクトに得ることができ、さらに項目本文の青字リンク（※）、おすすめサイト（外部サイト）など、子どもたちの好奇心を満たし、発展につながる道筋が用意されています。「調べてわかった!」という成功体験、その楽しさを知ると、自ら意欲的に自学で『Sagasokka!』を活用する児童も出てきます。『Sagasokka!』で調べられる百科事典には、定義や基本的な情報が載っています。誰かの考えではなく、純粋な情報だけを得られる点も、とても良いです。インターネット検索で出てくるサイトには個人の考えが掲載されたものもありますが、これはときに、子どもたちの考える活動を邪魔してしまいます。

この単元で気づいた点として、『Sagasokka!』には教科書で学習する知識に加え、教員が子どもたちに知ってほしい情報が載っていました。子どもたちが自発的に『Sagasokka!』から必要な情報を見つけることができたので、順序だててスムーズに授業を進行することができました。

国語辞典、紙の百科事典、『Sagasokka!』、インターネット検索の順に、段階的にデータベースを使って調べる経験を積むことで、子どもたちの情報収集能力が徐々に育っていくと考えています。段階を踏まずにいきなりインターネット検索では、子どもたちが必要な情報を得ることは難しいでしょう。現在5年生の子どもたちは4年生時に紙の百科事典の利用指導を行っており、『Sagasokka!』のキーワード検索をとともスムーズに使いこなしています。

※青字リンク・・・項目本文の中には、文字が青くなっている言葉（青字リンク）があり、クリックするとその言葉の項目に移動して、解説を読むことができる

## 「日本の誇り！伝統工業！！」

### ①伝統工業とは

- ・ある特定の地域において、そこでとれる原材料と、歴史的、伝統的に受けつがれた技術をいかしておこなわれる工業。
- ・江戸時代に発展した手工業がもとになっている場合が多く、その地域の特色が反映されている。
- ・大量生産するものではなく、小規模で家内工業的なものであり、職人的な技術によりつくられた製品という点に価値をおくものなので、製造数はかぎられる。
- ・大量生産される工業製品や値段の安い輸入品との競争、後継者の不足、製品を買う側の価値観の変化などによって、伝統工業は危機に立たされることが多く、さまざまな工夫や努力がおこなわれている。

『伝統工業(でんとうこうぎょう)』、総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より

### ②房州うちわ

- ・千葉県館山市、南房総市などでつくられているうちわ。国の伝統的工芸品に指定されている。
- ・歴史は比較的浅く、明治時代になってから、はじまったといわれる。この地域はうちわの材料に適した柔軟性に富んだメダケとよばれる良質のタケの産地で、漁師の家の女性や子ども、老人たちの内職として発展した。

『房州うちわ(ぼうしゅううちわ)』、総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より

### ③まとめ

伝統工業は、自動車生産などと違って、大量生産をするものではなく、機械を使わず、職人の高い技術によって作られるのだとわかった。また、日本に住む一人として、日本の文化や技術が今も残っているということが嬉しく、ここまでつないできたことが、とてもすごいことだと感じた。しかし、伝統工業には後継者が減ってきているという現実があるため、多くの人に魅力を知ってもらうことで、少しでも後継者を増やしていけると思った。また、そうすることが、自分たちが住んでいる、日本の伝統を繋げてきてくれた人々への感謝にも繋がると思った。



房州うちわ製作の様子  
提供：館山市観光協会



房州うちわ

提供：房州うちわ振興協議会

## 「電気機器製造業があるからこそ！！」

①電気機器製造業とは  
電気エネルギーを発生させる機器や、貯蔵する機器、送電したり変電したりする機器を造る事業者を電気機器製造業という。

②テレビ  
テレビとは映像を非常に細かな光の点としてとらえ、光の強弱を電気信号に変換し、受像機はこの信号を受けとり映像をうつしつけることで、アニメーションのように動く映像として目にみえる用になること。高柳健次郎さんが926年に世界で初めてブラウン管のテレビに「イ」という文字を映した。

③まとめ  
電気機器製造業は、様々な電化製品などの身近に使うようなものを生産して、より生活を豊かに、より生活を楽にできるように進化させていることがわかった。また、生産者の人々のニーズに応えられるようにという思いや、努力を知ったからこそ、しっかり長く使う、感謝の気持ちを込めて使うことを大切にしたい。そして、これからの世代にも「この豊かなくらは、昔から今にかけて、電気機器製造業が様々な発明をしてくれたからこそあるんだよ。」と、伝えられるようにしたい。



国内初のテレビ、「イ」の字の複製機と高柳健次郎

M&A キャピタルパートナーズ『テレビ』、総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より、

### ■テレビ放送の歩み

| 年    | 主なできごと            |
|------|-------------------|
| 1897 | ブラウン管ブラウン管を発明     |
| 1925 | ペアーダがネオン管テレビを発明   |
| 1926 | 高柳健次郎がブラウン管で文字を複製 |
| 1935 | ドイツでテレビ放送         |
| 1936 | ベルリンオリンピックを中継     |
| 1941 | アメリカ合衆国でテレビ放送     |
| 1953 | NHK、日本テレビがテレビ放送   |
| 1958 | 東京タワー（電波塔）完成      |
| 1959 | 藤田子（現在の上野）で成層圏中継  |
| 1960 | カラー放送             |
| 1964 | 東京オリンピック開催        |
| 1969 | アポロ11号月面着陸中継      |
| 1987 | BSアナログ放送          |
| 1996 | CSデジタル放送          |
| 2000 | BSデジタル放送          |
| 2003 | 地上デジタル放送          |
| 2012 | 衛星スカイパー（電波塔）発射    |
| 2018 | 4K・8K放送           |

### ▲児童の成果物

### 授業で使われた資料

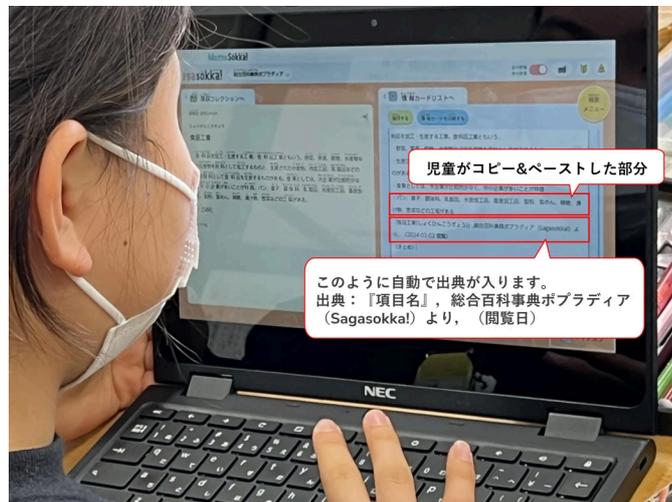
授業で使える項目セット・・・調べ学習の授業でよくあつかうテーマに沿って、「ポプラディア」の項目をセットにして紹介しているコーナー



かわいい使い方は [こちら](#)！

レポートや調べ学習の発表資料に『Sagasokka!』の項目の本文、画像・資料で見つけた絵や写真を貼り付けて使用する場合は、  
・『Sagasokka!』項目本文をコピー＆ペーストすると、下記のように自動で出典が入ります（コピーした文字が15文字より少ないときは、出典が自動では入りません）

かわいい使い方は [こちら](#)！



写真提供：相模原市立若草小学校